

1) システムの名称 :

内視鏡・生理検査システム LIS (エルアイエス)

2) 対象業務、電子カルテシステム内での位置付け :

5. 画像検査系

3) 特色 :

内視鏡・生理検査システム LIS は、内視鏡・生理検査部門において、受付から検査実施、画像取り込み、実施情報送信、レポート作成に至るまでの進捗を管理し、運用を強力にサポートします。電子カルテとの連携やバーコードの利用によりスピーディーに情報を入力でき、画像やレポートもシームレスに参照できます。部門内で発生した新規オーダにも対応でき、シンプルでありながらも必要十分な機能により効率的な運用を実現します。

#### ■内視鏡検査部門

検査の進捗はもちろん、洗浄管理に至るまでのフローを管理することができます。また、電子カルテと連携し、依頼時の情報を実施情報として自動的に入力できます。検査者や時間、薬剤使用量などを入力するだけで実施情報を電子カルテへ送信します。予め薬剤や材料、手技をセット化しておくことでスピーディーに実施情報を入力することができ、レポート記載や業務データとしても活用するなど、部門内の運用をトータルサポートします。

#### ■超音波検査部門

静止画・動画の取り込みはもちろん、DICOM 接続により心エコーなどの検査画像や DICOM SR で出力される計測情報を取り込むことができます。DICOM SR 計測情報はレポート記載時にも利用することができ、医療機関毎に自由なレイアウトで作成したレポートをオーダに紐付けて呼び出し、画像貼付や DICOM SR 計測情報、HIS 連携項目、実施情報を利用してスムーズに記載を行うことができます。

4) 画面／構成図を含めた分かりやすい説明 :

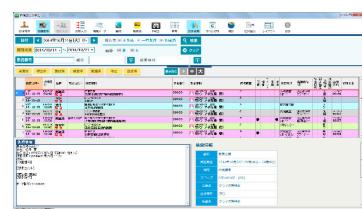
#### ■運用フロー例（内視鏡部門の場合）

##### 検査オーダ登録（HIS）

電子カルテで入力された検査オーダを受信します。検査目的やコメント、禁忌感染情報、入院退院情報などについても受信し、検査や患者情報を管理します。

##### 受付処理

バーコードによる受付を行い、患者・検査情報の確認をします。受付時には受付票を出力することができ、検査の運用を支援します。



##### 検査実施

###### <検査画像ファイリング>

内視鏡のフリー、リリーズを信号として受けて静止画を取り込むことができます。動画はフットスイッチを利用して取り込みます。動画から静止画をキャプチャできる他、ハイビジョンでの取り込みにも対応しています。また内視鏡画像のみならず、内視鏡エコー、C-Arm 透視画像もファイリングできます。



###### <生体モニターとの接続>



生体モニターと接続し、バイタルを取り込んで検査記録として電子カルテに保存できます。

##### 実施情報入力・送信



電子カルテから受信した依頼内容を確認し、実施情報を入力します。依頼情報は自動的に入力されるので、検査者や時間、薬剤の使用料などを入力し電子カルテに送信します。バーコード利用や、算定に必要な薬剤・材料・手技のセット化によりスピーディーな入力が可能。実施情報は、レポート記載や業務データ出力に利用できます。

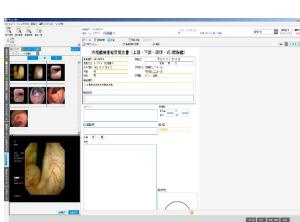
##### 洗浄管理



内視鏡検査の実施入力と合わせることで、洗浄の前後にいった患者の検査状況を管理。安全管理に寄与します。

##### レポート作成

医療機関に合わせて自由にレポートを作成でき、今まで利用してきたレポートそのまま利用できます。記載時には、オーダに紐づいたレポートを選択して起動し、画像貼り付けや HIS 連携項目・実施情報を利用して記載します。レポートは登録時に電子カルテにも反映されます。



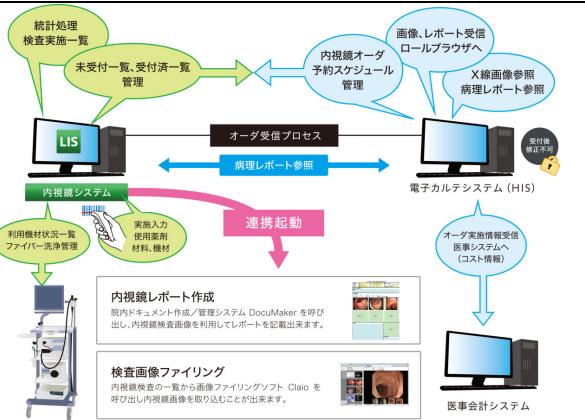
##### 業務データ管理・統計機能

検査の実施情報は業務データとして管理され、レポート記載や、薬剤の払い出し票・検査項目別 CSV 出力に利用できます。記載レポートの内容は、入力項目 1つ1つをタグ付けて管理しているので、必要な項目を自由に選択して経時的に参照したり、統計に活用したりできます。

## ■電子カルテ・外部システムとの連携

検査オーダを受信し、実施情報を送信します。オーダ時に入力される検査目的、検査時の病名、感染症情報、転科・転棟・転室・退院情報などについても受信し、入院患者の検査を正しく管理します。また、薬剤・材料・手技などのオーダマスターとの連携や、放射線システム・病理システムとの起動連携も行えます。

取り込んだ画像やレポートは電子カルテに送信し、診療記事に貼り付けることができます。また、電子カルテ上に表示された画像やレポートから、画像ファイリング機能(Clairo)やレポート記載機能(DocuMaker)を呼び出して参照することもできます。



## ■JED (Japan Endoscopy Database Project)への取組み

日本消化器内視鏡学会 JED Project に対応した専用入力テンプレートをご用意しています。テンプレートを利用して普段のレポート記載を行えば、データ提出用に二重入力を行う必要はありません。テンプレートは病変単位でご用意しており、プルダウンやツリー形式など直観的な操作で簡単に入力が行えます。

## 5) 標準化への対応状況、未達成の場合対応予定および対応のための追加費用の有無 :

- ・ HL7 形式による患者検索
- ・ EWF – Endoscopy Order Filler
- ・ EWF – Execution Information Creator
- ・ DICOM SR

## 6) 動作環境（ソフトの場合）、ハードスペック（ハードの場合）:

### ■サーバ構成

シングルサーバ構成（※必要に応じてウォームスタンバイ構成クラスタ構成、仮想環境）

オペレーティングシステム : Windows Server 2012 R2 Standard, Windows Server 2016

DBMS : MicroSoft SQL Server 2014 Standard, MicroSoft SQL Server 2017 Standard

CPU : Intel® Xeon® Processor E5-2623 v3 (10M Cache, 4C/3.00 GHz) 以上

メインメモリ : 8GB 以上

HDD : 1TB(実行容量) 以上

### ■クライアント構成 ※電子カルテ相乗りを想定の為、推奨スペックを記載

オペレーティングシステム : Windows 7, Windows 8.1, Windows10

CPU : Intel Pentium プロセッサー 以上

メインメモリ : 4GB 以上

画面解像度 : SXGA(1280×1024) 以上

## 7) 稼動までに必要な作業・期間 :

病院担当者様、HIS メーカ様、及びモダリティメーカー様と打合せ（5～6 回程度）・通常 4～6 か月程度

## 8) 価格（桁数（日本円における桁数）、「ご相談」は不可、桁数帯・金額・金額帯を入れても良い）:

ソフトウェア・導入作業費用 : 7～8 桁

## 9) 保守の内容と費用 :

### ■保守内容

対応内容 : 稼動時初期教育（オペレーション説明、マニュアル配布）、運用開始時立会い

障害発生時の電話サポート、リモート又はオンライン対応、毎月のログ確認

前提条件 : リモート接続可能な保守用 VPN 環境が有る場合

### ■保守費用

システム規模、保守内容によって異なります。

## 10) 問い合わせ先（販売会社 担当者、URL、e-mail 等）および開発元（もし別途あれば）:

株式会社ファインデックス（旧ピーエスシー） <https://findex.co.jp>  
東京本社 〒105-6133 東京都港区浜松町 2-4-1 世界貿易センタービル 33F TEL:03-5408-3745 FAX:03-5408-3744  
四国支社 〒790-0003 愛媛県松山市三番町 4-9-6 NBF 松山日銀前ビル 11F TEL:089-947-3388 FAX:089-947-1133  
大阪支店 〒541-0041 大阪府大阪市中央区北浜 2-6-18 淀屋橋スクエア 11F TEL:06-6220-1401 FAX:06-6220-1402

※弊社 HP のお問合せフォーム（医療システム・サービス）をご利用ください。

[https://findex.co.jp/inquiry/inq\\_pro.html](https://findex.co.jp/inquiry/inq_pro.html)